

世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「ベトナム」編（2016）

成田国際空港からベトナムの最大都市 ホーチミン市（約740万人） にあるタンソンニャット国際空港へ。所要時間は6時間だ。



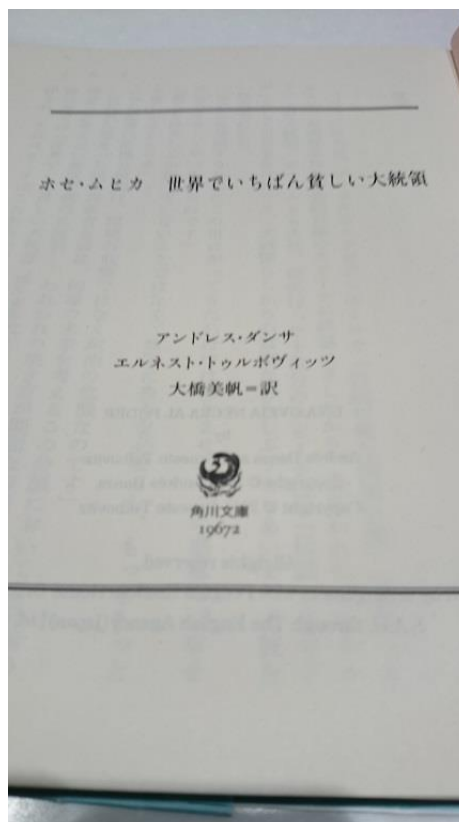
ベトナムの通貨はドン（VND）
200000 ドン⇔900 円、急に大富豪になった気分になる・・・



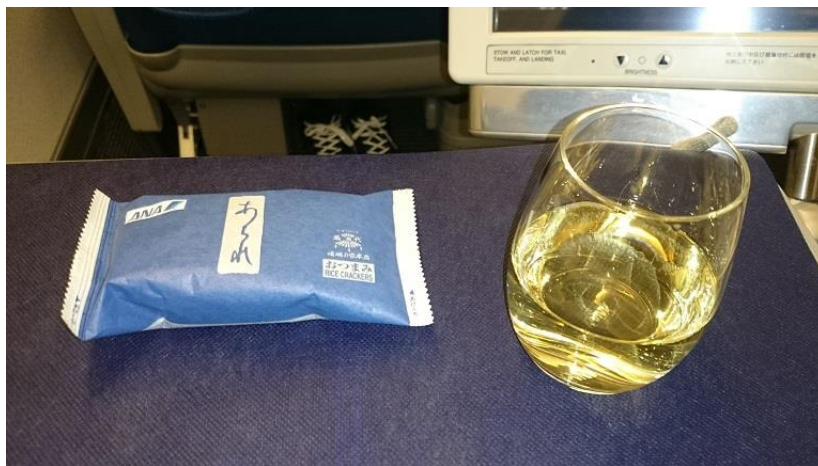
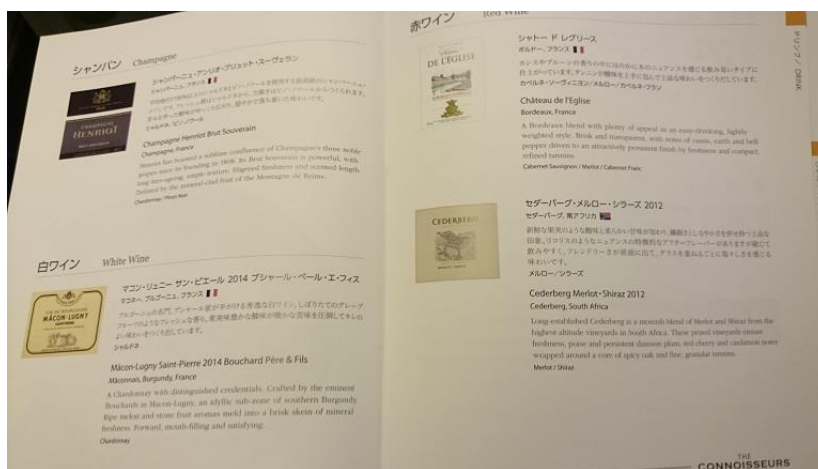
広島空港ラウンジ



先日、母から渡されたこの本が機内のお供・・・

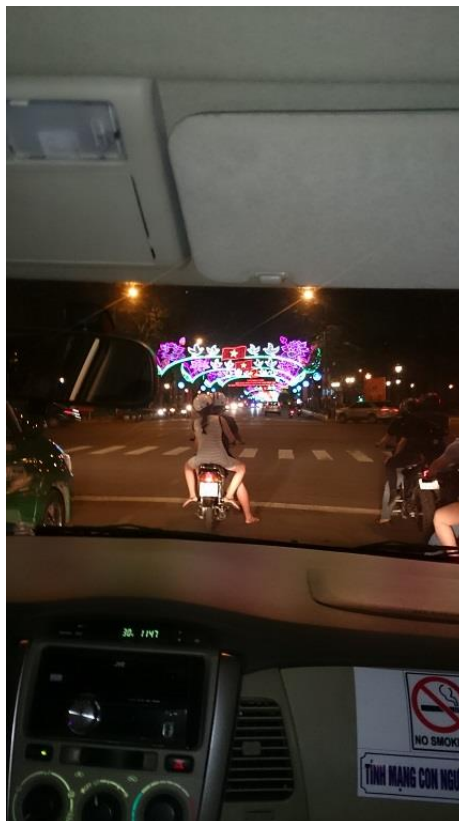


ANA（全日本空輸株式会社）の機内食



いよいよ ベトナム社会主義共和国（面積：346,410Km²、人口：約 9250 万人、
首都ハノイ は人口 650 万人）の旅へ～！

しかし、到着は夜・・・



国土は南北に細長く、北は中華人民共和国、西はラオス、南西はカンボジアと国境を接する。東は南シナ海に面しフィリピンと対する。



ちなみに、**日本**と**ベトナム**の時差は**-2**
つまり、日本が 19 : 00 の時にカンボジアは 17 : 00 だ。

余談だが、日本によるベトナムへのODA（政府開発援助）は1,680 百万ドル（2013 年支出総額ベース）と諸外国の中で1 位である。

故に、ベトナムの人は日本人に対して感謝の気持ちを持っている。

2013 年9 月時点の日系会員企業数は約1,553 社であり、ASEAN（東南アジア諸国連合）地域において首位のタイに次いで2 位にある。貿易収支は日本からの輸出が125 億ドル、日本への輸入が151 億ドル（2015 年通関ベース）で、在留邦人は14,695 人（2016 年、海外在留邦人数調査統計）と両国の関係は近年、急速に親密となっている。



・・・という場所に到着～



さあ！ハチミツ工場視察へ～！！
Guide は、（左隣の）ベトナムの八角親方（元横綱北勝海）

歓迎行事



ハチの群れ



ホーチミンから約一時間半で、南国の雰囲気漂うメコンデルタへ到着。
メコン川は、東南アジアを流れる川で、東南アジアで1番長い川だ。アジア全体では7番目に長い川になる。

また、メコン川はチベット高原に源流を発し、中国の雲南省を通り、ミャンマー・ラオス国境、タイ・ラオス国境、カンボジア・ベトナムをおよそ4200kmに渡って流れ、南シナ海に抜ける。典型的な国際河川の一つで、数多くの支流が

ある。

雨期には流量が増し流れが速いため、船の運航は非常に難しい。

乾期には流量は減るが、浅瀬が増えるため船舶の運航が難しくなる。

出発～！



すげ傘をかぶって記念撮影～
おいおい、邪魔するなよ！



ここで、紹介！「リフレッシュ休暇を利用してベトナムへ。なかなか旨い」(John
の facebook より抜粋)

改めて、セルフイー～



ココナッツ工場到着～！

早速、八角の怪力自慢～
(八角は久々のヒットの nice guy！)



ココナッツの出来上がるまで



かなりアナログ・・・



ここで登場～



見学の後はお土産コーナーへ
八角が異様にハッスル！恐らく relative か incentive が高いんだろうな～

お買い上げ～！



映画は、STING が1番好きだが、アドベンチャー物は、『インディージョーンズシリーズ』が好みだ。

そこで、インディアナ・ジョーンズ になった気分で
パチリ！



やはり、かなりの重量だ・・・



余談だが、ベトナムでは、オートバイのことを『ホンダ』と呼ぶ。本田宗一郎さんもさぞ嬉しいだろう。

真正のホンダ製



ホンダ製に似せたオートバイ（価格は半分以下）



トータスアイランドへ！



水上生活は大変だろうな・・・



よく溶け込んでいるな～



のどかなな～



『黒く塗りつぶせ』が流れてきて・・・



40 分ほど経過して到着～



ランチタイムー



Cruise 後は**永長寺**へ！

永長寺は、フランスと中国の様式を取り入れた、絢爛豪華なお寺。
ちなみに、ベトナムは日本同様、大乘仏教で 90%の国民が仏教信者だ。



立っている仏像は過去を・・・



座っている仏像は現在を・・・



寝ている仏像は未来を・・・



無宗教者でも有難い気持ちになる不思議





余談だが、ベトナムの埋葬方法は**土葬**だ。家族単位ではなく、個人の墓となる。



世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「ベトナム」編（2016）

散歩は文化・習慣・活気などを知る1番の道標だ！





ここにもあったジャンクフードを食すならこのお店がお気に入り～



25 分ほど歩いて到着～



そして、街1番のベトナム料理店で乾杯～！



生春巻きにはいつも目がない







八角は良かった！それに比べて・・・



『信頼できる中部出身者』のイメージが変わった。笑顔だけは良いな～



これが真の（酔った末の）笑顔～！



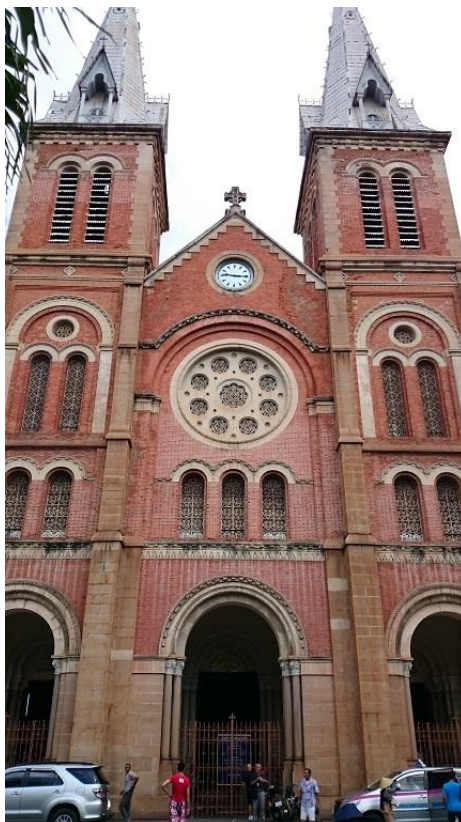
次の日は John がホーチミンは初訪問ということで、午前中は『[東洋のパリ](#)』
[ホーチミンの市内観光](#)。ベトナムは5回目の訪問だが、いつも観光は新しい発見があって楽しいな～

まずは、**サイゴン大教会**へ！

19 世紀末に建造された赤レンガ造りの教会。2 つの尖塔を持つ優雅なカトリック教会だ。

ちなみに、サイゴンは、ベトナム戦争以前のホーチミン市の呼び名。

サイゴンは、南ベトナムの首都だった。**チャン・バン・ホン** が最後の大統領。



内部の様子



次に、**中央郵便局**！

19 世紀末の**フランス統治時代**に建てられ、建築文化財としても貴重な建物。



誰に届くかな～？



そして、統一会堂！

1975年4月30日、解放軍（北軍）の戦車がこの官邸の鉄策を突破して無欠入城を果たし、事実上、ベトナム戦争が終結した。（北軍の勝利で、アメリカが支援していた南軍は敗北）現在は、国賓の Reception や Conference に使用されている。



GIANTS VS TIGERS





内部の様子（1F）



ダイニングルーム（黄色は食欲推進色らしい）



ベトナムの父、**ホー・チ・ミン**（ベトナム民主共和国の初代主席）の銅像とベトナム共産党の党旗とベトナム国旗。
ハンマーとイカリは、世界の共産党の党旗によく使われている。



内部の様子 (2F)





銃痕



余談だが、日本ではあまり馴染みはないが、ベトナムは長く中国の支配下にあった。（漢から唐までの BD111～AD938 年）1000 年以上の中国支配後に自立し、李朝、陳朝など歴代の王朝が続いた。

最後の王朝は 1802 年に成立した阮朝。実は、それ以前はベトナムという国名はなく、中国からは安南、自身では大越国などと名乗っていた。

1802 年に阮福暎（嘉隆帝）が、清朝に国王の地位を認められた時に、越南（ベトナム）という国号を受けた。清朝に対しては越南国王だったが、他の諸外国には皇帝、国号は大南帝国と称するなど、北国（清朝）に対しての南国（越南）という独自の中華思想を持っていたのもこの王権の特徴だった。

1883 年にはフランスの保護国となり、その後も阮朝皇室は存続していたが、1945 年に共産国家として独立した際に、阮朝は廃止された。

皇帝や国王は 龍 が大好きだ～！



皇帝や国王は 5 本の指の龍



皇帝や国王以外は 3 本以下





内部の様子（3F）
ストレス解消の為の緑の庭園



子供部屋



戦勝の笑顔と戦利品



映画館



ゲームルーム



そりゃあ、負けるな～



そして、屋上



いつも臨戦態勢だった地下室



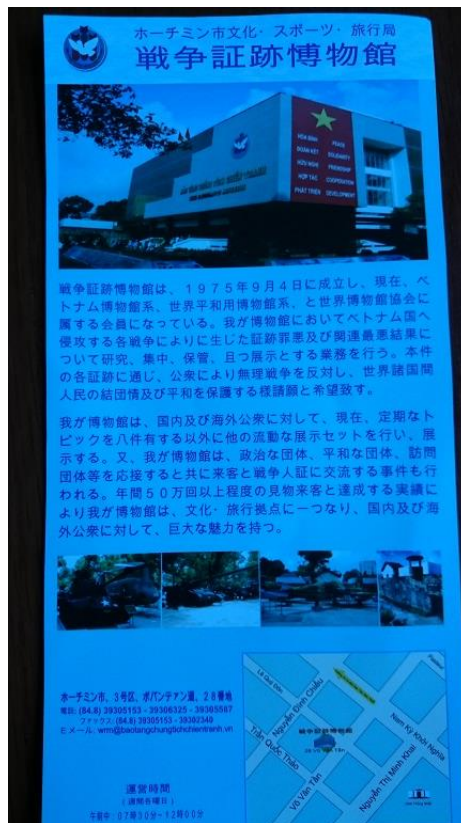
よく溶け込んでいるな～（2回目）





ここは訪れよう、戦争証跡博物館！





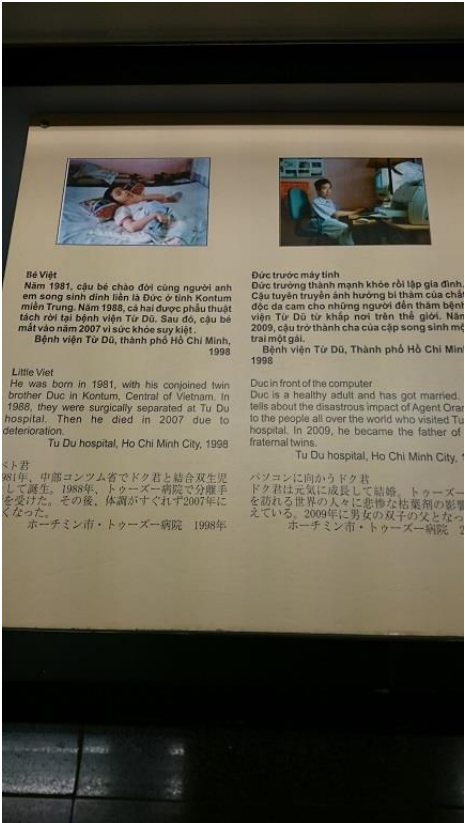
実際に使用された戦車や大砲などの戦争遺物、写真などが展示されている。
かなり生々しくいつ来ても衝撃的だ。





もはや言葉は不要だ・・・





	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972
Quân đội Sài Gòn cũ South Vietnamese puppet	514.000	643.000	735.900	798.800	820.000	897.000	968.000	1.046.250	1.048.000
Mỹ United States	23.310	184.310	385.300	485.600	536.000	549.500	335.790	158.120	24.000
Nam Triều Tiên South Korea	200	20.620	25.570	47.830	50.000	48.870	48.540	45.700	36.790
Thái Lan Thailand	—	20	240	2.200	6.000	11.570	11.570	6.000	40
Ô-xtây-li-a Australia	200	1.580	4.530	6.820	7.660	7.670	6.800	2.000	130
Phi-líp-pin Philippines	20	70	2.060	2.020	1.580	190	70	50	50
Ni-pi-di-tân New Zealand	30	120	160	530	520	550	440	100	50



最後に、**ベントン市場**へ！

生鮮食品から衣料、雑貨など何でもそろうホーチミン最大の市場。

John が購入意欲満々



商売熱心は結構だが、服を引っ張ってくるのは **NG**





世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「ベトナム」編（2016）

午後はダナンへ1時間30分の空路移動～！





ダナン 1 番のベトナム料理店へ



乾杯～！



ビーチリゾートには大好物のロブスターがとても似合う



夕食後の恒例散歩～



花の香りに包まれると、とても清々しい気持ちになる。先日、タバコの煙の中、4時間過ごして、体調を崩した。飲食をするなら『**禁煙店**』に限る。

岡村龍哉は健康体だ。

こちらも清々しい**青空**と**青い海**！



白い砂浜



これから本格的にリゾート地になるんだろうな～その資格十分！



地産地消



What happened ! ?



そういうことね・・・
よく溶け込んでいるな～（3回目）



風が吹いて波が高くなってきたので、ホテルの Roof へ移動～！
誰も居なくなって～競泳！



今日は良く運動したので・・・



乾杯～！



John のお気に入り・・・



Big〜シャコ！（John のお勧めで初体験）



やはり、beef は欠かせない・・・



翌日も・・・



鳩は人間を見定める



ダナンのビーチは、幅が広くてとても長い。ハワイの比ではない



『ビーチリゾート』、同じ行動で同じパターンを繰り返す幸せ～！



今日も良く運動したので乾杯～！



昨夜、食後に行ったマッサージ店で一緒だった韓国人親子がまたまた！！
今夜、偶然に隣の席に！？

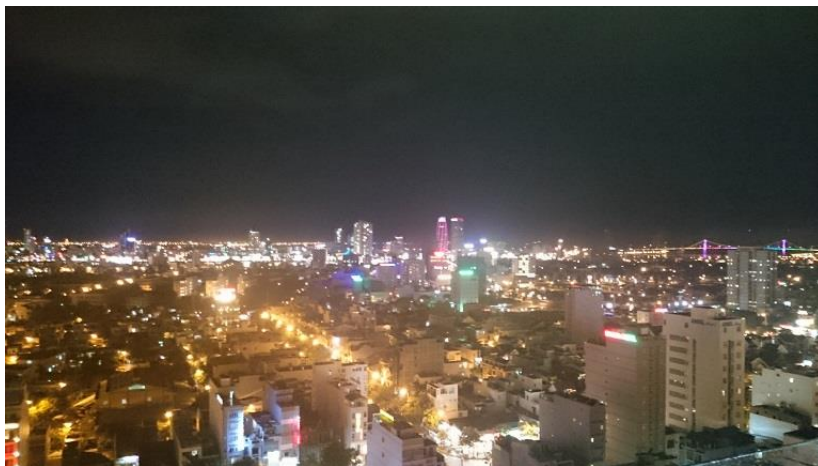
話しも弾み、別れた後に彼（息子：nice guy のサッカー選手）が戻ってきて、
「一緒に café へ行きませんか？」と「マッサージ店の予約時間が・・・」と返
答し、行けば良かったと珍しく、残念だった・・・



マッサージ後ホテルの屋上へ！
高所恐怖症だが、どうにか撮影・・・



微妙にブレる・・・



さてと、明日はホーチミン市へ戻ろう～！

世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「ベトナム」編（2016）

AMATA Industrial Park へ～！



会長&社長の案内で、12000km² の 300 人規模の新工場（建設中）を堪能！



福利厚生の釣り堀も併設～



ランチェスター戦略を実践し続ける信念の経営者だ～！



ホーチミン市近郊の Bien Hoa（車で約 40 分）の街の様子！







ここで、シンプルにベトナムで産出される 『トパーズ』 を説明しよう。

正式名を **TOPAZ** （日本名：黄玉，化学成分： $\text{Al}_2\text{SiO}_4(\text{OH})_2$ ，宝石言葉：友情・生命力・勇気・自信，11月の誕生石）と呼び、モース硬度（押し込み強度）は、**8** である。名前の由来は、ギリシア語の「**Topazos**」に由来し、「**捜し求める**」を意味する。《**肌身離さず身に付けていると、真実の友または真実の恋人が一生離れない**》と古代から伝えられている。

シトリン（黄水晶・11月の誕生石）とは混同せず、全く別の宝石であることを明確に認識して頂きたい。（よく似た色をしているが価格・価値は大違い）

余談だが、また、ピンク色の**ピンクトパーズ**は希少価値があり、とても高価だ。ベトナムは良質なピンクトパーズの産地でもある。





さてと、そろそろ帰国の為にホーチミン市へ戻ろう！

その前に、名店へ～！

迷って、迷って、迷って・・・



乾杯～！



もはや恒例のオーダー



そして、この笑顔！！！！



柔らかい beef を食して



ベトナム経済は好調だ。ベトナムは2000年代半ばに7%前後の高い成長率を誇ったが、2008年～2010年に通貨危機とも呼べる経済不振に陥った。現在は弱点だった貿易赤字体質を乗り越え、再び6%台の高い成長率を実現している。その姿は一昔前のタイ経済と重なる。異なるのは、タイは日本企業が主導して復活を遂げたが、ベトナムは韓国企業がけん引している点だ。

ベトナムは部品産業の薄さが弱点とされてきた。成長すればするほど貿易赤字が拡大した。製品の組み立てや縫製が本格化すると、国内では作れない部品や原材料の輸入が激増したからだ。2000年代半ばにベトナムは通貨ドンを1ドル＝1万6千ドン前後でレートをほぼ固定していたが、貿易赤字が拡大するなか、2008年から通貨の切り下げを余儀なくされた。昨今のアルゼンチンやトルコの状況と同じである。度重なる切り下げで現在は1ドル＝2万2千ドンになっている。世界同時不況も重なり、成長率は2008年に5.6%、2009年は5.4%に落ちた。この危機を救ったのが韓国サムスン電子だった。2009年に北部バクニン省に7億ドルを投じて携帯電話の端末工場を稼働。生産能力は1億2千万個と世界最大級だ。2014年にハノイ北方のタイグエン省に同規模の第二工場を稼働させた。サムスンのスマホ生産はベトナムの大幅な輸出増加に繋がった。

『大規模な組み立て工場のあるところにはいずれ部品メーカーが進出してくる』ものだ。タイとベトナムは似たような発展過程を辿っている。



タイは通貨危機の傷が癒えた 2002 年に 6.1%、2003 年は 7.2% の高成長に復帰した。（相変わらず政治は不安定だが・・・）この経験に照らすと、貿易赤字を克服すればベトナムも高成長が続くことになる。十数年遅れで同じ現象がベトナムで起きているのだ。タイと同じような外資導入策で成長しているため、発展過程が似てくるのも不思議ではない。

残念なのは、通貨危機後のタイではあれほど素早く投資復活に動いた（トヨタを筆頭とした）日本企業が、ベトナムでは韓国勢に大きく後れをとっている点だ。2015 年のベトナムへの直接投資では韓国が 67 億ドルで 1 位、日本は 18 億ドルで 3 位だ。これが東南アジアでの日本企業の情報収集力の衰えを示すものでなければ良いのだが・・・



去年は John と Tommy と **カンボジア王国** へ男 3 人旅～！



来年は何処に行こうかな～？

東京で髪も切り、サッパリと自宅へ

運転をしながら、青い空を眺めて『**日本とベトナムの空が繋がっていると思うと、それだけでとても素敵で大きな感動！！！！**』と・・・

